

はじめに

本資料は、動物の生息域保全するため、今後の道路管理上・環境保全上の観点から、一般化・共有化可能なロードキル防止技術を構築したものです。

本資料が、これから建設する道路に対する自然環境保全への取り組みに加え、すでに供用している道路においても、ロードキルの発生を減少させるための参考となれば幸いです。

なお、本資料は、国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部道路環境研究室が実施した以下の研究成果をとりまとめたものです。

- ・ 道路による生息域の分断化防止対策に関する研究（平成10年）
- ・ 道路による動物の生息域への影響低減技術の調査研究（平成11年～平成14年）
- ・ 動物用道路横断施設の設置方法に関する研究（平成12年～平成13年）
- ・ 自然環境アセスメントにおける環境保全措置に関する調査（平成14年）

これらの研究では、現地調査及び調査結果の分析、環境保全事例の整理等を行っています。

なお、道路による生息域の分断化防止対策に関する研究及び、道路による動物の生息域への影響低減技術の調査研究については、宇都宮大学農学部との共同研究である。共同研究者の宇都宮大学農学部 小金澤教授には、深く感謝の意を表します。

本研究における調査の実施に際しては、日本道路公団道路環境課、日本道路公団都城管理事務所の方々には、ひとかたならぬご協力をいただき、この場を借りて心から感謝の意を表します。